

『年頭に寄せて』

北海道建設部総務課 用地担当課長 鳴海 正一



新年明けましておめでとうございます。

平成29年の新春を迎えるにあたり、謹んで 年頭のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人 日本補償コンサルタント協会北海道支部の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

また、貴協会におかれましては、昭和52年 設立から本年で創設40周年を迎えられ、長き にわたり業界の発展にご尽力されてきたこと に心から敬意を表するとともに、日頃から北海 道の建設行政につきまして、格別のご理解、ご 協力をいただいておりますことに厚く御礼申 し上げます。

さて、昨年は8月中旬から台風が相次いで北海道に上陸し、各地で大きな被害が発生いたしました。とりわけ、十勝地方を中心とした台風10号による被害は過去最大規模のものとなり、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地では現在も懸命な復旧作業が行われておりますが、一刻も早い復旧・復興の実現に向けて、貴協会のご支援をいただきながら、全力で取組んでまいります。

道では、近年の局地的な豪雨により災害発生のリスクが高まっていることから、「北海道強靱化計画」を策定し、道民の皆様が安全に安心して暮らすことができるよう、災害に強い地域づくりを進めておりますが、自然災害の恐ろしさを痛感し、改めて社会基盤整備の重要性を再認識したところでございます。

一方、本道経済に目を向けますと北海道の景気は緩やかに回復している傾向にありますが、 公共事業を取り巻く情勢は依然厳しい状況が 続いており、コスト削減や重点的かつ効率的な 事業執行が求められております。

こうした中、昨年3月には道民の悲願であった北海道新幹線が開業し、観光やビジネスなど地域経済に大きな波及効果をもたらしております。2030年に予定されている札幌開業によって、更なる本道経済の活性化が期待される

ところであり、道といたしましては、沿線自治 体や関係機関と連携し、着実な整備促進に努め てまいりたいと考えております。

社会資本整備を推進していくためには、何より用地取得の円滑化・迅速化が不可欠でありますが、用地経験豊富な職員が減少する反面、権利者意識の向上によって詳細な補償説明が必要となるなど用地業務は困難性を増しており、専門家である貴協会の存在は、私ども起業者にとって大変心強いものとなっております。

会員の皆様がこれまで培ってこられた高度な 専門知識と技術力を存分に発揮していただき、 今後とも「良きパートナー」としてご協力いた だくようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして 良い年となりますとともに、貴協会が益々ご発 展されることをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶 に代えさせていただきます。

『CPD 制度熟成の年に』

(一社) 日本補償コンサルタント協会 北海道支部長 中野 芳



新年明けましてお めでとうございます。 会員の皆様にはご 家族ともども清々し い新春を迎えられた ことと謹んでお慶び 申し上げます。

また、日頃から(一社)日本補償コンサ

ルタント協会北海道支部の運営に対し格別の ご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げま す。

昨年は北海道新幹線開業や日ハムシリーズ 優勝にコンサドーレ札幌 J2 優勝・J1 昇格と道 民にとり嬉しい話題があった一方、8月の大雨 と引き続いた台風によってもたらされた堤防 決壊や道路・鉄道網の寸断など道民生活に大き な影響を与える自然災害も発生しました。

被災された皆さんには心よりお見舞い申し あげますと共に1日も早い復旧・復興を祈念す るところです。

さて、新年度の公共事業費を見通す「2017年度北海道開発予算概算要求」は事業費ベースで前年比17%増の7,658億となりました。

農業農村整備や空港整備など北海道の主力である食と観光の分野に重点化された要求となっています。道路事業など新規事業に拠り所を置く補償コンサルタント業界としては依然として厳しい状況が続いていると認識しています。業界が優秀な人材を確保し技術を継承できる環境を作り出すためには安定した事業量と予算の裏付けが何よりも重要で有ると考えているところで、引き続き関係機関のご尽力をお願いするところです。

当協会では昨年4月に「補償コンサルタント CPD 制度」を運用開始しました。技術者の育成 強化とスキルアップによる品質向上を目的と しているところで北海道支部としても制度の 熟成に向け研修等の内容充実に努めていくこ ととしております。

北海道支部は今年12月で創設40周年を 迎えます。新たな節目に向け記念の事業を企画 していきたいと考えているところで、会員の皆 さんの一層のご協力をお願いするところです。

おわりに、今年1年が皆様にとりまして実り 多き年となりますことをご祈念し年頭のご挨 拶とします。





『新年ご挨拶』

北海道開発局**札幌開発建設部** 調査官 外﨑 文彦 (北海道用地対策連絡協議会道央地区部会長)

新年あけましておめでとうございます。

日本補償コンサルタント協会北海道支部会 員の皆様におかれましては、つつがなく新しい 年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から北海道開発事業の推進につきまして、ご協力いただいていることに対し厚く 御礼申し上げます。

さて、札幌開発建設部は、石狩、空知地方の 全域及び上川地方の一部を含む道央圏の地域 を管轄しており、河川整備、道路整備、農業農 村整備、空港整備、国営公園整備の各事業を推 進しております。

現在、各事業において、用地処理を一生懸命 進めているところですが、その中から少し紹介 させていただきます。

まず、河川整備事業のうち北村遊水地事業については、石狩川本川及び支川に甚大な被害をもたらした昭和56年8月洪水の再発防止のために、平成19年9月に策定された「石狩川(下流)河川整備計画」に基づき、岩見沢市北村地区及び樺戸郡月形町雁里地区に約950ha(札幌ドーム約172個分。東京ドーム約200個分)の遊水地を建設する事業です。

洪水時には、上流側堤防の一部を切り下げた 「越流堤」から水を入れ、遊水地内に水を貯め、 石狩川の水量を調整し、洪水の危険が去った後、 下流側に設置された「排水門」から徐々に石狩 川に放水する仕組みとなっています。

遊水地内の用地処理は、地役権設定方式となっており、洪水時以外は田畑等として利用可能となっています。

次に、道路整備事業のうち道央圏連絡道路については、千歳市を起点として小樽市に至る延長80kmの地域高規格道路で、「新千歳空港」と重要港湾「石狩湾新港」及び「小樽港」を結び道央都市圏の外郭を連絡し、①道央都市圏の交通混雑緩和、②空港・港湾の物流拠点と周辺地域とのアクセス向上による産業活性化が主な整備効果として挙げられています。

道央圏連絡道路の最後の整備区間となる長 沼南幌道路は、長沼町から南幌町までの延長1 4.6kmで、対象地域は、札幌近郊における農 産物の一大生産地であり、農業経営に大きな影 響を与えないよう地域の皆様の声を聞き、事業 の重要性を理解いただきながら、用地取得を進 めているところです。

昨年、相次ぐ台風の上陸により当部管内でも 大きな被害を受けました。地域住民の安心で安 全な暮らしを守るためにも事業の早期完成が 必要であり、そのためには用地取得の迅速化が 不可欠となっています。

地権者の要求が多様化、複雑化している中、 用地取得に伴う説明責任、透明性の確保が求め られており、用地調査、積算業務の高度な専門 知識を有する日本補償コンサルタント協会の 皆様のご協力が必要不可欠となっています。

今後も、公共用地行政の一翼を担う良きパートナーとして、引き続きご協力いただくことを お願い申し上げまして、年頭のあいさつとさせ ていただきます。



【ご来賓の山越課長】

○ 第40回通常総会



【開会挨拶する中野支部長】

平成28年5月19日 (木)、「ホテルポールスター札幌」において第40回通常総会を開催しました。

開催にあたり中野支部長は「補償コンサルタント業界は依然と厳しい状況が続いており業務量確保、用地関連予算の充実は担い手育成や安定した会社経営にとって喫緊の課題である。発注官庁には新たな業務領域の開拓・拡大や業務の平準化発注、早期発注など引き続き要望していきたい。今年4月からCPD制度の運用が開始されたが、制度創設の目的は技術者レベルの向上と成果品の品質向上にある。各会員が積極的に参画し期待に応えられる協会会員を目指していただきたい。また、来年12月で北海道支部は創立40周年を迎える。節目の年として記念事業を実施したい。」と挨拶しました。

その後、北海道開発局開発監理部用地課長 山越祐二 様、北海道建設部総務課用地担当課 長 鳴海正一 様、協会本部 吉田昭夫 様か らそれぞれご来賓挨拶をうけ議案審議に移り ました。





【ご来賓の鳴海課長】

議案審議は北海道調査補償(株)代表取締役 佐藤直志 様を議長に選出し進行、審議事項・ 報告事項は提案どおり承認されました。

- ●審議事項は以下の通りです。
 - ①平成27年度事業報告承認の件
 - ②平成 27 年度決算報告承認の件及び監査報告
 - ③役員の選任について
- ●報告事項は以下の通りです。
 - ①平成28年度事業計画について
 - ②平成28年度収支予算について
 - ③退会者の件

【新役員の皆さん】



◎支部役員名簿

役 職 名	氏 名	会 社 名
支 部 長	中 野 芳	(株) 補償セミナリー
副支部長	越山仁志	(株) 越山建築設計事務所
副支部長	堀 内 秋 治	(株) タナカコンサルタント
幹事	舟山秀太郎	(株) 舟山組
幹事	佐 藤 直	平田技術コンサルタント (株)
幹事	山内一賴	(株) 富士建設コンサルタント
幹事	山下吉己	山下コンサルタント (株)
監 事	紀国隆二	(株) 光栄コンサルタント
監 事	細 野 徳 一	東光コンサルタント (株)
相談役	小 林 孝	(株) エル技術コンサルタント

○ 東日本ブロック会議



【担当支部を代表して挨拶をする中野支部長】

平成28年10月17日から18日にかけ、東日本ブロック(北海道、東北、関東、北陸、中部)会議を北海道支部担当のもと函館市で開催しました。会議には本部のほか、平成29年度西日本ブロック開催支部として沖縄支部がオブザーバー参加しました。

会議冒頭中野支部長は「熊本地震や台風災害で犠牲になられた皆さんにご冥福をお祈りします。復旧・復興に補償コンサル業界が支援にあたっているが、1日も早い復興を祈念しています。北海道新幹線開業の年に函館で会議の開催ができたことを嬉しく思う。ブロック会議の議題は難しい案件が多いが、是非、積極的な議論をお願いします。」と挨拶しました。

本部坂田会長は「北海道に襲来した台風災害では高速道路だけ繋がっていたが、安心・安全な投資の継続は今後も必要と考えている。熊本地震による倒壊家屋の管理や撤去業務では会員が頑張っている。行政でできないところを下支えしているもので業界の仕事をもっと周知しなければならない。CPDは立ち上げの段階で叱咤も多いが、新規分野の開拓を含めて担い手の育成や業務の承継のためにも早く軌道に乗せる必要がある。」と挨拶がありました。



【協会本部:坂田会長挨拶】

初日の議題討論では、東北支部から「本部・ 支部・県部会の役割分担と連携」、関東支部から「CPD制度の今後の活用」、北陸支部から「担い手の育成について」、中部支部から「補償コンサルタント業の位置づけ」、そして北海道支部から「業務領域拡大の取り組み」を提起し各支部からそれぞれ意見を出し合いました。



【佐藤課長(右)、松橋上席(中央)】



【事業説明に聞き入る会議参加者】

2月目は道南地区会員の(株)ノース技研布村社長から「函館には推奨土木遺産や近代土木遺産が多数点在しており歴史的価値も高い。歴史資源を生かし、これからの地域振興の可能性を探っている。」と函館漁港防波堤や日本最古のコンクリート電柱、笹流ダム、函館要塞などの土木・産業遺産群を紹介しました。また事業視察では北海道開発局函館開発建設部用地課の佐藤課長と松橋上席用地専門官に現在工事が進められている「高規格幹線道路函館新外環状道路事業」の事業概要と用地補償におけるコンサル業務のかかわりについて詳細に説明を受け日程を終えました。

○ 西日本ブロック会議

平成28年7月7日から8日にかけて西日本ブロック会議が高松市で開催され、当該年度東日本ブロック会議運営担当として北海道支部三役、事務局が参加しました。会議では西日本ブロック各支部から提案のあった議題の意見交換と現地視察を行いました。



○ 東北支部と意見交換会議

平成28年5月9日から10日にかけ北海 道支部と東北支部による意見交換会議が行わ れました。この会議は平成22年度まで定



【賢木東北支部長の挨拶】

期的に開催されていましたが、東日本大震災の 後、中断されていたもので、今般、東北支部の 呼びかけにより開催されたものです。会議では 補償コンサル業務領域の拡大や人材確保と育 成、復興支援業務の対応について両支部の実情 と具体的な取り組みを報告しました。また、東 日本大震災で被災した石巻市や名取市閖上地 区の復興状況を視察しました。



【石巻、日和見公園から市街地を望む】



【復興が進む石巻市街】





『小さな会社で大きな役割』

株式会社 高 崎 代表取締役 菊地 満

弊社は昭和34年福岡県久留米市に、高崎測 量建設(株)を設立し当時、事業としてはまだ 間もない地籍調査測量を手掛けておりました。

翌年北海道でも地籍調査が民間委託として 発注されたことを機に3名の技術者が来道し、 札幌支社として事務所を構え昭和40年代後半 まで道内30市町村で地籍一筋つとめてまい りました。

当時の北海道は交通アクセスも悪く、測量現場は熊笹が生い茂り作業は困難を極め特に九州の人達にとっては、冬の北海道は過酷な日々であったと聞いております。昭和も50年代に入り、当社も徐々に一般測量へとシフトし道営事業や公社営事業に参入してまいりました。その後、平成9年に道内企業となるべく営業譲渡



【(株) 髙崎 札幌本社屋】

を受け独立「株式会社 高崎」が誕生しました。 現在札幌本社と帯広支社を拠点に社員を配置し、全道で展開しております。業務メニューは地籍調査、一般測量、農業土木設計、酪農施設の建築設計、補償調査がメインとなっております。特に酪農施設のコンサル部門では、牛舎や搾乳ロボット舎の建築設計、畜舎周りの環境整備、牛にやさしい安心安全な飼料庫設計など、北海道が日本の食糧基地となる発展の一役を担っておると自負いたしております。

さて肝心の補償コンサルタント協会への入会でありますが、平成7年、1級建築士事務所開設と併せ3部門登録で加入させていただきました。実績としましては、建設管理部発注の移転補償、北海道新幹線の木古内駅周辺移転補償、ネクスコ東日本の小樽余市間高速道路補償調査、防衛施設局の矢臼別演習場周辺防音対策



【(株) 髙崎 帯広支社屋】

補償調査、近年は札幌市の下水工事や公共物建築の事業損失、あるいは振興局発注の圃場整備の事前事後調査が多くなっております。

いずれの業務も豊富な経験と知識、高い技術 力が求められ、これらの人材確保と育成が企業 の急務と考えております。

御協会には講習会や研修会の開催、あるいは 資格試験の実施など益々お世話になることと 思います。

最後になりますが、独立して20年、まだま だ経験も浅く貴会員の皆様にご指導を仰がね ばなりませんが「小さな会社で大きな役割を」、 これを基本理念に努力してまいる所存であり ます。

今後ともよろしくお願いいたします。



『地域に密着した企業』を 目指して

明和測量工業株式会社 代表取締役 森谷 清

弊社は、昭和 38 年に現 会長である都松明が起業



して、本年で 54 年目を迎えることができました。

創業当初より、全道各地、特に空知管内を中心に北村、雨竜町、赤平市、岩見沢市の地籍調査事業、及び市街地の区画整理事業、又、空知支庁のほ場整備事業などにも携わり、米どころ空知の『地域に密着した企業』として地道に努力をしてまいりました。

会長をはじめ当時の職員たちは開拓精神を もとに、未開の地である河川、山林の中を三脚 やトランシットを担いで歩き、現地ではクマに 遭遇することもあったと聞いています。

当時は中古の測量機器、中古の自動車、自転車またはオートバイが主力だったようで、官庁監督員がオートバイ、社員は自転車で現場へ行っていたそうで・・・本当に当時の技術者の諸先輩方には頭が下がる思いです。

【明和測量工業㈱ 社屋】



その後、業績を積み上げ、測量業のみにとどまらず、業務の拡大と新たな技術者の育成に勢力的に取り組み、昭和 62 年 4 月に補償コンサルタント業の登録により新たな分野の開拓をしていきました。

そうした中で会長は平成5年に、測量事業の 振興に大いに貢献したということが認められ、 建設大臣賞という名誉ある賞を受賞致しまし た。

現在、私は3代目社長として、多くの同業者、 官公庁のご理解とご支援のもと、日々精力的に 活動しております。

ここ数年、地球上における異常気象に伴い、 温暖化現象、自然災害が各地に発生しておりま す。8月にはニュースでも報道されたように、 北海道でも南空知・北見・十勝地方等、台風の 被害を受けました。

被災された皆様におかれましては、心よりお 見舞い申し上げます。

弊社も十勝清水町の復興支援業務に取り組むことになり、急遽私は現地に赴くことになりました。現地では河川の氾濫、橋の崩壊、道路の欠落などを目の当たりにし、すっかり変わり果てた状況は、私の想像をはるかに超えたものでした。被害の大きさに衝撃を受けながらも、使命感とともに同業者と力を合わせ、昼夜に渡って支援業務に携わってまいりました。

この経験を、多くの人に伝えることにより、 微力ながら社会貢献のひとつになれば幸いと 感じております。

そして、国民の安全・安心の確保を担う一端 として、改めて我々の測量・補償コンサルタン ト業務の重要性を、肌で実感しているところで す。

今後も、社訓である「誠実・積極・責任」を もとに、社員一同、今まで以上に信頼を得られ るように、日々努力、研鑽を重ね、広く社会に 貢献し、『地域に密着した企業』を目指してい きたいと思います。



『利他の心』

株式会社 補償セミナリー 代表取締役 中野 芳



平成28年は 九州熊 本地方の大地震から夏場 の台風の襲来、鳥取地方の 大地震さらに東北地方で は11月には地震と津波

が発生するなど自然災害が数多く発生してお

ります。特に北海道は夏場に台風が何度も襲来 し全道各地で大災害に見舞われ、地球温暖化の 影響か北海道の秋の味覚「秋味さけ」が例年の 半分と不漁となっています。被災地の1日も早 い復興を祈っております。

わが社の経営理念は、国民の財産権を守り、 公平・正当かつ適正な補償理論を構築し、全て において、誠実であり、関係各位から信頼され る業務内容を目指しております。

そのなかで、社員個々人の課題と目標を明確にし、一生懸命仕事をすることを通じて人間性を高める。人生も経営も相手を思いやる『利他の心』が必要であるとして取り組み、成果品の品質向上に努めております。

昭和53年6月に「有限会社補償セミナリー」 として 札幌市南区川沿の現在地に補償コン サルタント業務の専門会社として設立しまし た。以来40年の歳月がたち、社業の発展・成 果品の精度向上に努力しております。

この間、昭和54年3月「一般社団法人日本補償コンサルタント協会」に入会。昭和59年12月補償コンサルタント登録規程に基づく「物件部門」・「事業損失部門」をもって建設省(現 国土交通省)登録しております。

また、平成3年4月には「株式会社補償セミナリー」として名称変更、組織の拡大を図っております。平成12年2月「一般社団法人改修設計センター」、平成20年4月「一般建築士事務所登録」、平成26年4月「一般社団法人日本補償コンサルタント復興支援協会」にそれぞれ入会しております。

現在は、補償コンサルタント登録規程にある「総合補償部門」をはじめ全8部門の登録及び一級建築士事務所・アスベスト診断士等の技術者を配し、あらゆる補償業務に対応できる総合補償コンサルタント会社として日々研鑽しております。

業務領域は、国・北海道・市町村等の公共事業の土地の取得に伴う、土地・建物等の権利者等に対し生ずる損失補償額の調査算定評価を行う業務を実施しています。

一方、東日本大震災の復興事業に係る、土地 建物等の調査など復興支援業務も実施してお ります。

今後とも、公共事業の施行の一翼を担う『補 償コンサルタント』会社として社員一同、安 心・安全な国土の建設に寄与してまいります。



【新年にあたり社員一同で参拝】

『(株)ドボク管理は社会 全ての発展に寄与します』

株式会社 ドボク管理 代表取締役 加藤和雄



会社創立から44年

北見市で昭和47年3月に(株)ドボク管 理事務所として発足以来、44年が経ちました。

昭和49年には札幌支店を開設し、昭和63年に社名を(株)ドボク管理と改め、翌平成元年および平成2年には、それぞれ網走出張所および旭川支店を開設し、社会公共に貢献していく総合建設コンサルタントとして現在に至っております。

「工場と調和」を表す社のシンボルマーク

弊社のシンボルマークは、社名頭文字の"d" を図案化したもので、三角定規とコンパスで描 いた円を組み合わせています。三角形の頂点は 天空を指し、常に向上 することを表し、

円はこの三角形と融合 することで、全体の調 和を表しています。斜 めに引かれた太い線は、 組織である会社、社会



全体の発展に寄与したいという願いを込めて シンボル化したものです。

空撮「ドローン」の活躍に期待

最近話題になっているマルチコプター(ドローン)による空撮を弊社も取り入れています。

地形測量を実施する場合は、トータルステーションや GNSS 測量機器を用いた現況測量により数値データを取得し、現況平面図の作成を行ってきましたが、この作業には多くの時間と経費、人員を必要とします。そこで、マルチコプターの空撮により3次元点群データの観測を行い、専用ソフトウェアを用い現況図や任意の箇所の縦横断データの取得、土量計算が可能となります。

航空レーザー測量に比べ測量精度が劣る、操縦技術・規制・安全対策などの問題がついて回りますが、簡易・低コストで圃場整備や河川整備・管理をはじめ、災害時の状況把握等への活躍が期待されます。



新しい技術開発が 建設コンサルタント 業に携わる人材を創 出し、社会の発展に つながっていけばと 思います。

双方向コミュニケーション情報誌「ドカン」

地域社会とのつながりという意味で、 弊社はフリースタイルの地域情報誌として「ドカン」を年3 回発行しています。これは社員が企画、取材から発行まで手がけ、弊社の企業情報だけではなく、地域情報などを一緒に発信しています。情報収集や取材を通して得られる地域住民との双方向のコミュニケーションは、われわれ建設コンサルタント業に携わる者にとって大変重要な機会と考えています。(写真は最新号の表紙。)

発注者のニーズに応えられるよう日々研鑽

昭和59年12月に補償コンサルタント業 に登録しました。現在の登録部門は土地調査部 門、物件部門、営業補償・特殊補償部門、事業 損失部門の4部門となっています。

これまで建物、立木、機械設備、営業などの 調査、補償額の算定そして、敷地使用実態調査、 移転工法検討など広い分野での業務に取り組 んでいます。「誠心誠意」「迅速確実」の社是を 守り、業務を通して「発注者が期待するニーズ」 に応えられるよう、その実現に向けて日々研鑽 を重ねていく考えですのでよろしくお願いい たします。



【ドボク管理本社社屋:壁面パネルは北見市特産のハッカをイメージさせるミントブルーと、風水から一部黄色と青色を配置】

〇 要望活動

平成28年度の要望活動を8月下旬から10月 下旬にかけて実施しました。

今年度は『要望書』の見直しが行われたこと

から実施時期が遅れましたが、国や地方公共団体 311 機関へ全国版「要望書」を送付しました。

また、支部の要望事項もとりまとめており、 北海道開発局各開発建設部、北海道各建設管理 部の主要官庁に対し三役が直接訪問の上で要 望趣旨を説明しました。

支部の主な要望事項は、総合補償部門や総合 補償士の活用、業務領域の未活用部分の拡大、 発注業務の拡充と平準化、CPD 制度創設による 技術者評価の拡充などです。



【札幌開建、小泉次長へ要望書手交】

要望活動実施日(振興局は要望書の手渡し)

女主旧男人,旭日	(MXX/N)165		
日	要	 夏活動官庁	:
8/29	樽開建	樽建管	
	札開建	札建管	
9/1	留開建	留建管	留振興
9/2	旭開建	旭建管	上振興
9/15	室開建	室建管	胆振興
9/16	函開建	函建管	渡振興
9/20	釧開建	釧建管	釧振興
9/21	十振興	帯建管	
10/12	網開建	網建管	才振興
10/27	稚開建	稚建管	宗振興
未実施	帯開建		
29/1 月	開発局	道庁	



〇 意見交換会等

◆要望活動における意見交換会◆◆◆◆◆◆

昨年8月から10月にかけて北海道開発局各開発建設部及び北海道建設部各建設管理部 用地担当官と業務領域の拡大、発注業務の平準 化と早期発注などについて当協会の実情も含め幅広い観点から意見交換を行いました。

毎年、要望活動に合わせて行っているもので、 発注機関の用地補償関連事業や予算の見通し についても忌憚なく意見交換されました。

これらの意見を踏まえ、北海道開発局、北海 道建設部と平成29年1月に意見交換を実施 する予定です。



【平成28年1月18日、北海道開発局との意見交換会】



【挨拶する山越用地課長】

◎議事

- ①成果品品質向上の取組の現状について
- ②受発注者の取組について
- ③監督業務について
- ④成果品の一時提出について
- ⑤工期について
- ⑥情報共有について



【意見交換会の様子】

◆成果品品質向上に向けた意見交換会◆◆◆◆

北海道開発局用地課主催による「成果品品質向上に向けた意見交換会」を実施しました。

7回目の開催となった今年度はこれまでに 取り組んだ成果の現状や今後の取組目標と課 題について双方が確認し、さらなる品質向上を 追求していくこととしました。

- ・日 平成28年11月9日
- ·場 所 札幌第1合同庁舎10F会議室
- ・出席者

(開発局) 山越課長以下 19 名 (支 部) 三役、会員会社担当者等 18 名

◆北海道開発局の業務発注にかかる意見交換会◆◆

北海道開発局発注の用地関連業務の内、「総合評価落札方式に係る参加申請書様式の簡素 化や実施方針の記載についての簡略化」、「共同 企業体の業務分担のあり方」、「積算基準等の電 子化」、「用地補償総合技術業務の業務費につい て」等々について率直な意見交換を行いました。

- ・日 平成28年6月29日
- ・場 所 支部事務局
- ・出席者

(開発局) 山越用地課長以下5名(支 部)5会員7名



【業務発注について勉強会】

◆用地関係業務歩掛ヒアリング◆◆◆◆◆

用地関係業務の歩掛検証に関するヒアリングが実施されました。ヒアリングは本省公共用地室の要請に基づくもので、全国10支部で実施され北海道支部から3会員が対象となり意見を述べました。

- · 日 平成 28 年 9 月 12 日
- ・場 所 支部事務局
- ・対象業務 ①墓地管理者等の調査
 - ②機械設備、生産設備、立竹木、 庭園及び墳墓等
- ・協力会員(株)エル技術コンサルタント
 - (株) タナカコンサルタント
 - (株) 補償セミナリー



【ヒアリングで業務実態を説明する会員技術者】



○ 研修・講習・試験等

◆平成 28 年度用地事務研修◆◆◆◆◆◆◆

会員技術者の技術力向上を目指し、用地事 務研修を実施しました。

講師のみなさんにはご協力ありがとうございました。

- ・日 平成28年1月21日~22日
- ・場 所 道特会館
- ·参加者数 33 社 51 名

研修科目名	講師名
土地収用法概説	北海道開発局 開発監理部用地課
	収用専門官 木田泰智 氏
建物調査業務の解説	(株) タナカコンサルタント
	技術2部次長 坪井淳一 氏
補償事例解説	北海道開発局 網走開発建設部用地課
	上席用地専門官 金子幸雄 氏
	用地専門官 堀田一見 氏
入札制度の解説	北海道開発局 工事管理課
	工事契約管理官 佐藤俊也 氏
基準等の改正の解説	北海道開発局 開発監理部用地課
	調整係長 佐野博史 氏
	補償審査係長 猪股則章 氏
技術力が鍵	(株) ドーコン
	交通部参与 斉藤敏幸 氏
業務成績評価の解説	北海道開発局 開発監理部用地課
総合評価落札方式の	用地官 池田裕志 氏
解説	生活再建対策係長 菅野和彦 氏
意見交換会	補償業務委員会 越山仁志委員長

◆補償業務管理士検定(筆記)試験◆◆◆◆◆

平成27年度補償業務管理士検定試験(筆記) を行い、延べ79名が受験しました。

- · 日 平成 28 年 4 月 24 日
- ・場 所 北海道経済センター
- ・受験者数 共通科目 40名専門科目 39名

◆補償業務管理士検定(論文)試験◆◆◆◆◆

平成27年度補償業務管理士検定試験(論文) を行い、8名が受験しました。

- ・日 平成28年8月1日
- •場 所 道特会館

◆補償業務管理士更新講習会◆◆◆◆◆◆◆

平成28年度補償業務管理士登録更新講習会を行い、46名が登録更新を済ませました。 講師の皆さんにはご協力ありがとうございました。

- · 日 平成 28 年 9 月 27 日
- ・場 所 北海道経済センター
- •講習科目、講師
 - ①公共用地業務の現状と課題 北海道開発局 開発監理部用地課 用地課長補佐 **藤井和貴** 氏
 - ②補償コンサルタントと管理業務



北海道開発局 開発監理部用地課 開発専門官 **梶 博司** 氏

③補償基準等の改正等について



北海道開発局 開発監理部用地課 調整係長 **佐野博史** 氏

④補償コンサルタント業の属性と市場規模等について

(一社) 日本補償コンサルタント協会 研修事業部長 **野崎 修** 氏

◆共通科目研修◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成28年度共通科目研修を行い、11名が受講しました。講師の皆さんにはご協力ありがとうございました。

- ・日 平成28年11月28日~30日
- ・場 所 道特会館
- ·研修科目、講師
 - ①用地事務概要



北海道開発局 開発監理部用地課 用地補償管理官 **内田昭範** 氏

②補償の法理



北海道開発局 開発監理部用地課 用地課長補佐 **藤井和貴** 氏

- ③土地利用規制法概説 DVD
- ④不動産登記法概説
- ⑤土地収用法概説



北海道開発局 開発監理部用地課 収用専門官 **熊谷 淳** 氏

DVD

⑥事業損失·生活再建



北海道開発局 開発監理部用地課 補償審査係長 **西井了英** 氏

⑦公共補償基準



北海道開発局 開発監理部用地課 収用認定専門官 **庭本政章** 氏

- ⑧補償関係税制概説
- DVD
- 9発注仕様概説



北海道開発局 開発監理部用地課 用地官

嶋 洋 氏

⑩補償コンサルタント業



(株)エル技術コンサルタント 常務取締役

駒寄弘幸 氏

①一般補償基準



北海道開発局 札幌開発建設部

千歳川河川事務所副所長

伊藤誠一 氏



北海道開発局 札幌開発建設部 用地課長補佐 **杉本 隆** 氏

説明会・講演会等

◆補償標準単価表改正説明会◆◆◆◆◆◆◆

北海道用地対策連絡協議会が主催する「補償標準単価表等の改正にかかる説明会」が札幌と 釧路で行われ、それぞれの地区に存する会員の 担当者等が参加しました。

- ◎ 説明基準等
 - ①補償標準単価表の説明
 - ②建物移転料算定要領改正の説明
 - ③土地評価比準表改定の説明
 - · 札幌会場 平成 28 年 4 月 21 日· 札幌第 1 合同庁舎 36 会員 63 人参加
 - ・釧路会場 平成28年6月1日釧路地方合同庁舎 7会員18人参加



【釧路会場の説明会の様子】

◆独占禁止法講演会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

企業活動の上で入札・契約の透明性の確保、 法令遵守は基本となるものです。24 会員 29 名 が聴講しました。

- · 日 平成 28 年 9 月 5 日
- ・場 所 道特会館
- ・講演「独占禁止法遵守について」 公益財団法人 建設業適正取引推進機構 相談指導部長 遠藤孝史 氏





◆補償コンサルタント CPD 説明会◆◆◆◆

平成 28 年 4 月から運用された補償コンサル タント CPD 制度の説明会が運用前段の平成 28 年 3 月 17 日に行われました。説明会は本部 CPD 準備委員会横打委員と、野崎研修事業部長によ り行われ、32 会員 35 名が説明を受けました。



◆講演会および補償事例研究発表会◆◆◆

北海道用地対策連絡協議会が主催する「講演会および補償事例研究発表会」が行われ、今後の業務処理に活かそうと、12 会員 23 人が参加しました。

- · 日 平成 28 年 10 月 20 日
- ·場 所 札幌第1合同庁舎
- 1 講 演

「公共用地業務の現状と課題」

国土交通省土地・建設産業局 総務課 公共用地室用地調整係長 **菅野和彦** 氏

- 2 事例発表
 - ①「所有者不明(多数相続)用地処理について」

室蘭地区部会 室蘭開発建設部 用地課 用地専門官 **藤本和久** 氏

②「帯広圏都市計画道路 3.4.34 号青柳通整 備事業に伴う郵便局舎の移転補償等につ いて」

带広地区部会 帯広市都市建設部 土木課 **小澤正樹** 氏

③「大規模事業における用地処理マネジメントの活用について」〜北村遊水地〜 北海道用地対策連絡協議会事務局



〇 本部理事会等

(北海道補償第54号発行以降の報告)

◆理事会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 27 年度第 9 回理事会 (28.1.14)

- 1 決議事項 第1号議案 入会の承認について
- 2 協議事項
 - ①CPD 制度のシステム構築等について
 - ②理事会日程調整
- 3 報告事項
 - ①専門科目研修の実施について
 - ②平成28年新年交礼会について
 - ③中間貯蔵施設整備に係る用地取得迅速化 への対応について
 - ④リニア中央新幹線関係業務・秘密保持契約 について
 - ⑤第40回通常総会について

平成 27 年度第 10 回理事会 (28.3.25)

1 決議事項

第1号議案 入会の承認について

第2号議案 平成27年度常任委員会事業実

施報告及び 28 年度常任委員会

事業実施計画について

第3号議案 平成28年度事業計画及び収支

予算について

2 協議事項

①第40回通常総会の議長について

②CPD 制度について

③平成27年度及び平成28年度の経営改善策

について

④理事会日程調整

3 報告事項

①会員の状況について

②職務執行状況報告について



平成 28 年度第 1 回理事会 (28.5.24)

1 決議事項

第1号議案 入会の承認について

第2号議案 平成27年度事業報告について

第3号議案 平成27年度収支決算について

第4号議案 公益目的支出計画実施報告書

について

第5号議案 会費及び入会金規程の一部改

正について

第6号議案 職員退職金支給規程の一部改

正について

第7号議案 第40回通常総会について

第8号議案 平成27年度経営改善策につい

7

2 協議事項

①平成28年度要望書について

②平成28年度経営改善策について

③平成28年度熊本地震への対応について

④理事会日程調整

3 報告事項

①会員資格の喪失について

②会員の状況について

③職務執行状況報告について

④熊本地震の被災者に関する補償業務管理

士登録証等の再交付について



平成 28 年度第 2 回理事会 (28.6.14)

1 決議事項

第1号議案 入会の承認について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 常任委員会の委員の承認につい

7

第4号議案 資産運用規程の制定について

2 協議事項

①理事会日程調整

3 報告事項

①会員の状況について

②第40回通常総会懇親会について

③第40回通常総会議長予定者について

④職員の任免について

⑤電話受話器のガイダンスについて



平成 28 年度第 3 回理事会 (28.6.14)

1 決議事項

第1号議案 会長の選定について

第2号議案 副会長の選定について

第3号議案 専務理事の選定について

第4号議案 名誉会長及び相談役の選任に

ついて

第5号議案 会長表彰について



平成 28 年度第 4 回理事会 (28.7.19)

1 決議事項

第1号議案 役員の報酬について

2 協議事項

①平成28年度要望書について

3 報告事項

①会員の状況について

②国土交通大臣表彰について

③副会長の担当業務について

④特別委員会及び総務委員会分科会の委嘱 について



平成 28 年度第 5 回理事会 (28.9.6)

- 1 決議事項
 - 第1号議案 入会の承認について
- 2 協議事項
 - ①公益社団法人への移行について
 - ②理事会日程調整
- 3 報告事項
 - ①会員の状況について
 - ②人材確保等アンケート調査について
 - ③第25回海外損失補償制度調査について
 - ④CPD 制度の運用について



平成 28 年度第 6 回理事会 (28.10.24)

- 1 決議事項
 - 第1号議案 入会の承認について
 - 第2号議案 会員の資格停止について
- 2 協議事項
 - ①入会時の会員資格要件について
 - ②理事会日程調整
- 3 報告事項
 - ①会員の状況について
 - ②国土交通省との意見交換会の実施結果に ついて
 - ③平成27年度検定試験の実施結果について
 - ④平成28年度登録更新講習の実施結果について
 - ⑤CPD 制度の運用状況について
 - ⑥第25回海外損失補償制度調査について
- 4 その他
 - ①平成 28 年度大規模津波防災総合訓練の報告
 - ②平成29年度東日本ブロック会議開催日程 について報告



平成 28 年度第7回理事会 (28.11.21)

- 1 協議事項
 - ①入会時の会員資格要件について
- 2 報告事項
 - ①職務執行状況報告について
 - ②平成28年度補償業務管理士研修及び試験 実施計画について
 - ③CPD 制度の運用状況について
 - ④創立 40 周年記念事業実施案について
 - ⑤環境省任期付き職員の募集について
 - ⑥平成29年度新春交礼会及び理事会日程に ついて
 - ⑦平成 28 年度大規模津波防災総合訓練について



【赤レンガ広場イルミネーション】

◆総務委員会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 27 年度第 3 回総務委員会 (28.1.26)

- 1 議題
 - ①公益社団法人移行の条件整備について
 - ②要望活動等の実施時期等の検討結果について
 - ③総合補償部門における業務領域拡大活動 方針検討について
 - ④平成28年度要望書の作成について
 - ⑤これからの人材確保・育成等の取組につい て
 - ⑥CPD 制度のシステム構築等について
- 2 その他
 - ①平成27年度総務委員会事業実施計画



平成 27 年度第 4 回総務委員会 (28.3.22)

1 議題

- ①平成27年度総務委員会事業実施計画(案) 及び平成28年度総務委員会事業実施計画 (案)について
- ②平成27年度補償業務委員会事業実施計画 (案)及び平成28年度補償業務委員会事 業実施計画(案)について
- ③平成28年度事業計画(案)について
- ④平成28年度収支予算(案)について
- ⑤第40回通常総会議長予定者について
- ⑥総合補償部門における業務領域拡大方針 検討について
- ⑦平成28年度要望書について
- ⑧これからの人材確保・育成等の取組について
- 2 その他
 - ①総務委員会日程調整



平成 28 年度第 1 回総務委員会 (28.5.16)

- 1 議題
 - ①平成27年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
 - ②会費及び入会金規程の一部改正(案)について
 - ③職員退職金支給規程の一部改正(案)について
 - ④ワーキンググループの設置について
 - ⑤総合補償部門における業務領域拡大方針 検討について
 - ⑥平成28年度要望書(案)について
 - ⑦これからの人材確保・育成等の取組につい て
- 2 その他
 - ①平成28年度総務委員会事業実施計画



平成 28 年度第 2 回総務委員会 (28.11.15)

- 1 議題
 - ①委員長・副委員長の選任について
 - ②分科会の委員委嘱について
 - ③国土交通省との意見交換会の実施結果に

ついて

- ④第25回海外損失補償制度調査について
- ⑤創立 40 周年記念事業実施案について
- ⑥総合補償部門における業務領域拡大方針 検討について
- ⑦これからの人材確保・育成等の取組につい て
- 2 その他
 - ①平成28年度総務委員会事業実施計画



平成 28 年度第 1 回総務委員会企画分科会 (28.7.27)

- 1 議題
 - ①第 25 回海外損失補償制度調査について



【大通り3丁目広場イルミネーション】

◆補償業務委員会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 28 年度第1回補償業務委員会(28.10.11)

- 1 議題
 - ①新規体制での役員選出
 - ②平成27年度の事業実施状況
 - ③平成28年度の事業実施計画
 - ④今後の進め方
 - ⑤委員会日程調整

◆復興支援協会本部関係◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 27 年度第 9 回理事会 (28.1.14)

- 1 決議事項
 - ①第1号議案 会員の入会の承認について
- 2 協議事項
 - ①平成 27 年度中間貯蔵施設設置に伴う土地

建物等調査等業務の促進化に関する報告 書の審査について

- 3 報告事項
 - ①平成27年度受託業務の進捗状況について
 - ②平成 28 年度環境省受託予定業務の概要について
 - ③平成 28 年度東京電力(株)受託予定業務の概要について
 - ④平成 28 年度大槌町受託予定業務の概要に ついて



平成 27 年度第 10 回理事会 (28.3.25)

- 1 決議事項
 - ①第1号議案 会員の入会承認について
 - ②第2号議案 規則等の制定及び改正について
- 2 協議事項
 - ①会員の審査業務の追加発注について
 - ②用地総合支援業務の審査課担当業務従事 者の削減について
 - ③職員の給与改定について
- 3 報告事項
 - ①平成27年度受託業務の完了検査について ②その他
- 4 その他
 - ①平成27年度総会予定について



平成 28 年度第 1 回理事会 (27.5.25)

- 1 決議事項
 - ①第1号議案 会員の入会について
- 2 協議事項
 - ①平成27年度受託業務の結果について
 - ②平成 28 年度受託業務の契約及び業務の内容について
 - ③平成 27 年度中間貯蔵施設設置に伴う3業 務の実績証明に関する国土交通省の取扱 等について
 - ④ (一社) 福島相双復興準備機構発注による 被災事業者の事業再建・再生支援について

- ⑤建物等調査実施会員の増数計画について
- 3 その他
 - ①熊本県及び大分県所在の支援協会会員の 被災状況について
- ②熊本大地震に対する協会としての対応に ついて



平成 28 年度第 2 回理事会 (28.5.31)

- 1 決議事項
 - ①入会の承認について
- 2 協議事項
 - ①平成27年度事業報告について
 - ②平成27年度収支決算について
 - ③平成28年度事業計画について
 - ④平成28年度収支予算について
 - ⑤役員(理事)等の改選について
 - ⑥第2回通常総会について
- 3 報告事項
 - ①平成 28 年度土地建物等調査等業務の内容 説明会について
 - ②平成28年度成果物審査業務の発注について
 - ③平成26年度及び平成27年度の業務実績証 明書について
 - ④福島相双復興準備機構との基本協定書の 締結について
- 4 その他
 - ①平成 28 年度 (2016 年) 熊本地震への義援 金の支出について



平成 28 年度第 3 回理事会 (28.6.21)

- 1 協議事項
- ①第1号議案 会員の入会承認について
- 2 報告事項
- ①平成26年度及び平成27年度の業務実績証 明書について
- 3 その他
 - ①第2回通常総会議事録署名人の選定
 - ②第2回通常総会懇親会式次第について

③平成28年度(2016年)熊本地震への義援 金の贈呈について(報告)



平成 28 年度第 4 回理事会 (28.6.21)

- 1 決議事項
 - ①第1号議案 会長(代表理事)及び副会長 の選任について



平成 28 年度第 5 回理事会(28.7.19)

- 1 決議事項
- ①第1号議案 入会の承認について
- 2 協議事項
 - ①第6回理事会開催場所及び日程
- 3 報告事項
 - ①用地総合支援業務の審査業務について、現 地審査員の期限付き募集とその結果
 - ②熊本地震に伴う「被災家屋等解体・撤去管 理業務」の契約等について
 - ③平成27年度決算の修正について
- 3 その他
 - ①環境省への業務委託費の請求について



平成 28 年度第 6 回理事会 (28.9.28)

- 1 決議事項
 - ①第1号議案 入会の承認について
- 2 報告事項
 - ①熊本地震関係受託業務に係る協会等の事 務費について
- 3 報告事項
 - ①平成 28 年熊本地震の復興に関する契約に ついて
 - ②中間貯蔵施設設置に伴う用地調査等業務 に係る優良業務に係る実施会員に関する 推薦調書の提出について
- 4 その他
 - ①懇親会及び現地視察の予定等について
 - ②旅費等の支払いについて



平成 28 年度第7回理事会(28.10.24)

- 1 決議事項
 - 第1号議案 中間貯蔵施設設置に伴う用地 調査等業務に係る優良業務実施会員推薦 要領について
- 2 協議事項
 - ①中間貯蔵施設設置に伴う用地調査等業務の業務量減少に伴う会員への説明及び報告について
- 3 報告事項
 - ①平成 28 年度熊本地震関係受託業務の進捗 状況について
 - ②東京電力相談等対応補助業務の今後の配 置案について



【大通り4丁目広場イルミネーション】

平成 28 年度第 8 回理事会 (28.11.21)

- 1 決議事項
 - 第1号議案 優良業務実施会員推薦委員会 の設置について
- 2 報告事項
 - ①熊本地震に伴う業務委託料の支払いについて
 - ②優良業務実施会員の推薦に関する今後の 予定について
 - ③大規模津波防災総合訓練の開催結果について
- 3 その他
- ①中間貯蔵施設整備事業の進捗状況について



〇 支部委員会等

(北海道補償第54号発行以降の報告)

♦役員会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 27 年度第 5 回役員会(28.1.18)

- 1 議題
 - ①本部理事会 · 各委員会等報告
 - ②支部三役会·各委員会報告
 - ②平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画(案)について
 - ③研修会・意見交換会・説明会・講演会等
 - ④復興支援協会関係
 - ⑤今後の行事予定



平成 28 年度第 1 回役員会(28.4.22)

- 1 議題
 - ①理事会等報告
 - ②会計監査結果
 - ③北海道支部第40回通常総会について
 - ④今後の行事予定について



平成 28 年度第 2 回役員会(28.5.19)

- 1 議題
 - ①報告事項
 - ②第40回通常総会について
 - ③北海道開発局コンプライアンス
 - ④今後の行事予定について



平成 28 年度第 3 回役員会(28.5.19)

- 1 議題
 - ①相談役設置の確認について



平成 28 年度第 4 回役員会(28.6.22)

- 1 議題
 - ①理事会等報告



【役員会の様子】

- ②支部委員会等報告
- ③東日本ブロック会議について
- ④復興支援関係
- ⑤年間行事予定について



平成 28 年度第 5 回役員会(28.9.8)

- 1 議題
- ①報告事項
- ②東日本ブロック会議について
- ③平成28年度要望活動について
- ④今後の行事予定について



◆三役会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 27 年度第 2 回三役会 (28.2.8)

- 1 議題
 - ①平成28年度予算(案)について
 - ②役員選考について
 - ③その他



平成 27 年度第 3 回三役会(28.3.4)

- 1 議題
 - ①要望書について

- ②会計事務検査報告について
- ③その他



平成 27 年度第 4 回三役会 (28.3.29)

- 1 議題
 - ①平成28年度予算について
 - ②その他



平成 28 年度第 1 回三役会 (28.6.13)

- 1 議題
 - ①西日本ブロック会議について
 - ②東日本ブロック会議について
 - ③その他



◆総務委員会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 28 年度第 1 回総務委員会 (28.4.11)

- 1 議題
 - ①第40回通常総会関係
 - ②今後の行事日程
 - ③CPD 制度の創設について

役		職	氏			名	会 社 名
委	員	長	堀	内	秋	治	(株) タナカコンサルタント
委		員	佐	藤		直	平田技術コンサルタント (株)
委		員	関	本	裕	至	(株) ズコーシャ
委		員	布	村	重	樹	(株) ノース技研
委		員	後	藤		卓	(株) 空知コンサルタント

◆補償業務委員会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 28 年度第 1 回補償業務委員会(28.8.8)

- 1 議題
 - ①北海道開発局との意見交換による成果品 品質管理について
 - ②平成 27 年度本部業務委員会継続議題について

③用対連「基準と実務」質問事項について

役	職	氏	名	会 社 名
委 員	長	越山	仁 志	(株) 越山建築設計事務所
副委員	長	山下	吉 己	山下コンサルタント (株)
委	員	野田	聡 和	(株) ズコーシャ札幌支店
委	員	鈴木	眞 悟	(株) エル技術コンサルタント
委	員	前川	健	(株) 補償セミナリー
委	員	武井	義 正	(株) 北洋設備設計事務所

平成 28 年度第 2 回補償業務委員会 (28.11.21)

1 議題

- ①本部委員会報告
- ②平成 28 年度成果物品質向上に関する意見 交換会報告
- ③北海道開発局との意見交換による成果物 品質管理アンケートの整理
- ④用地事務研修について
- ⑤平成28年度事業報告及び平成29年度事業 計画について

◆企画広報委員会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 28 年度第1回企画広報委員会(28.8.22)

1 議題

- ①本部企画分科会報告
- ②平成28年度事業計画について
- ③会員名簿の発行について
- ④支部報「55号」の発行について
- ⑤本部広報誌について



【企画・広報委員会の様子】

役	職	氏 名	会 社 名
委 員	長	舟山秀太郎	(株) 舟山組
委	員	佐 藤 直 志	北海道調査補償 (株)
委	員	小 山 重 芳	(株) 日興ジオテック
委	員	川又敏英	アサヒコンサルタント (株)

◆研修委員会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 27 年度第 1 回研修委員会(28.1.21)

1 議題

- ①平成27年度研修計画
- ②平成28年度研修計画(案)
- ③その他



平成 28 年度第 1 回研修委員会 (28.8.23)

1 議題

- ①平成28年度支部研修実施計画について
- ②今後の研修体制の構築について
- ③今後の行事計画

役	職	氏	名	会 社 名
委員	長	山内一	賴	(株) 富士建設コンサルタント
委	員	坂口信	彦	HRS (株)
委	員	井 澤 弘	春	(一財) 北海道開発協会
委	員	駒 寄 弘	幸	(株) エル技術コンサルタント

◆周年記念事業 WG 関係◆◆◆◆◆◆◆◆

平成 28 年度第 1 回周年記念事業 WG 委員会 (28.12.1)

- ①WG 委員会体勢について
- ②記念行事日程について
- ③記念行事内容について

_	. –		
役	職	氏 名	会 社 名
委員	長	舟山秀太郎	(株) 舟山組
委	員	山内一賴	(株) 富士建設コンサルタント
委	員	後 藤 卓	(株) 空知コンサルタント
委	員	鈴木眞悟	(株) エル技術コンサルタント

◆復興支援協会支部関係◆◆◆◆◆◆◆◆◆

中間貯蔵施設設置に伴う土地建物等調査業務 の今後の見通しについて報告会を実施



平成28年12月1日、復興支援協会本部川畑会長を招き中間貯蔵施設設置に伴う土地建物等調査業務の今後の見通しについて、業務実績会員6社を対象に説明会を行いました。

〇 会員親睦事業

◆ゴルフ大会◆

平成28年6月10日、親睦会事業のゴルフ大会が16会員22名参加のもと札幌北広島ゴルフクラブで行われました。

前日までの雨は止んだものの、時折風のある 肌寒い1日となりスコアが気になりましたが、 上がってみれば実力発揮の牧野測量、高橋博治 さんが見事優勝を飾りました。

結果は以下の通りです。

- ●優 勝 髙橋博治 ネット 74.8 グロス 100 (株) 牧野測量
- ●準優勝 嶋 直人 ネット 75.2 グロス 98 シバタ技術コンサルタンツ (株)
- 1 位 水戸敏雄 ネット 75.6 グロス 84 サン技術コンサルタント (株)



◆釣り大会◆

平成28年5月27日、恒例の親睦事業釣り大会が8会員14名参加のもと苫小牧西港沖で行なわれました。

晴時々曇りの天候。前日までの風によるうねりで船酔いの人もいましたが、今年も大いに盛り上がりました。この日一番の釣果は48 cm型(鰈)を釣り上げた補償セミナリー、大杉友則さんで、見事優勝しました。

結果は以下の通りです。

- ●優 勝 大杉友則 48 cm
 - (株) 補償セミナリー
- ●準優勝 小向健二 44 cm シバタ技術コンサル (株)
- 1 位 角谷信夫 41 cm (株) タナカコンサルタント







a topic

受賞は技術者の励み

(株)タナカコンサルタント

平成28年7月26日、(株) タナカコンサルタントが札幌開発建設部発注の多数権利者処理業務で部長表彰を受賞しました。

補償コンサルとしては久方の受賞となり、担 当技術者はじめ、補償コンサル業務に従事する 技術者の励みとなりました。



【難波江部長から表彰状を受け取る堀内前社長】



熊本大震災に義援金贈呈



【中野支部長から萩原九州支部長へ義援金の贈呈】

北海道支部では昨年4月に発生した 「熊本大地震」に際し平成28年6月1 4日、萩原九州支部長に義援金を贈呈し ました。

義援金は九州支部各県部会を通じ、熊本県及び大分県に全額寄付されました。 被災された皆さんには1日も早い復 旧・復興をお祈りいたします。

本部広報誌への投稿から

おしゃれに変身中の札幌駅前周辺。





「赤レンガプラザ」ではオープンカフェがお似合い

平成26年7月に札幌駅前通りの中央区北2条西4丁目から旧北海道庁「赤レンガ」に続く車道を歩行者専用空間として共用。元々は札幌で最初に舗装された道路だったが、赤レンガ敷の空間に変化。冬期間を除き数々のイベント会場として盛況です。

通称「チ・カ・ホ」でゆったり散歩

札幌駅から大通りを経由してすすきのまでの1,500mは 札幌駅前地下歩行空間「チ・カ・ホ」がお薦め。平成 23年3月にオープンして以来、利用者は増加の一方。 歩行空間左右の広場では毎日催しが行われ家族連れな どで賑わっています。ビルやデパートにも直結。地下鉄 もいいけど「チ・カ・ホ」もね。

すすきの近郊を走行する路面電車も平成27年12月から ループ化され、利便性が向上。



「豊平館」もリニューアルオープン

すすきのに隣接する中島公園には国の重要文化財「豊平館」 (1880 年建造の洋風木造建造物)が6月のオープンにむけ 保存活用工事中。西洋高級ホテルの最初の宿泊客は明治天 皇。バルコニーの上には旧北海道庁と同じ五稜星「☆」の デザイン。公園内には、ほかに近代的なコンサートホール 「キタラ」などがある。





北海道支部周辺はビル建設が進み、オシャレな街並みに変 身中。北海道新幹線も開業しこれからが観光本番。是非、 足を運んでください。

> 北海道支部 (株)ドーコン 交通部 参与 斎藤敏幸

CQCQ 生涯の趣味 King of hobby

CQCQ

かつて、「キング・オブ・ホビー(趣味の王 様)」と言われたアマチュア無線も今は携帯電 話やインターネットなど様々な通信手段の発 達で昔ほど人気がなくなったのは残念の一言 です。

アマチュア無線 (HAM=ハムと呼ばれる) は 「金銭上の利益のためでなく、もっぱら個人的 な無線技術の興味によって行う自己訓練通信 及び技術的研究の業務」(無線通信規則) です。

私は1968年にアマチュア無線局を開局しました。現在までの交信局数は年数の割には多くはありません。というのも私自身は交信することにはあまり興味がなく、無線機や周辺装置を作る電子工作の方が好きだからです。私が開局した頃にはメーカー製の無線機も売られていましたが、とても高価で高校生の身分では購入できないため、真空管や抵抗、コンデンサといった部品を集めて無線機を自作するしかありませんでした。この時自作した送信機は、UY807という真空管を使ったAM(中波のラジオ放送と同じ方式)送信機でした。



(自作の小さい無線機)

友人達と競って無線機を作り上げ、山口県の アマチュア無線局と交信できた時は、自分の電 波が北海道から本州の端まで飛んで行ったことに驚き興奮したものです。

以来、無線機等の機器を作ることが楽しくなり、小さなトランシーバーの製作や古い無線機の修理、無線機の周辺機器などを沢山製作しました。部品を集め、ケースの穴あけ、部品の取り付け、配線、調整そして完成という過程は何度行っても楽しいものです。



(現在使用中の無線機の一部)

近頃は老眼が進んで小さな部品が見えず、メガネを掛けたり外したりでハンダ付けが辛くなってきました。それでも仕事が終わってから無線室(シャックと言う)に入り、無線機のスイッチを入れ、他局の交信を聞きながらコーヒーを入れ、無線雑誌を眺めつつ次に工作するものを検討するのは至福の時です。

また技術の進歩に送れないようにパソコン などの利用についても日々研鑽を積んでいる ところです。あと何年こうしたことができるか 分かりませんが、生涯の趣味として楽しんでい きたいと思っています。

> 東邦コンサルタント (株) 大平 敏幸



どちらも縁起物 「千両」と「南天」

皆さんは「千両」と「南天」の違い知っていますか。



上の写真は昨年秋に旅行先のとある参道で写した「千両」です。

この木を見つけた妻が「南天じゃない」と一言。すると隣にいた人が「これは千両」と訂正されました。調べてみると、「千両」は実が上向きに固まって付き、「南天」は幹の先端に実を付けると説明がされています。何となくナナカマドに似ているのかなと想像しています。

「南天」は「難を転じる」に通じることから縁起木としても知られ、庭に植えると火災を避けるとても効き目のある木と言われています。「千両」も赤い実や名前が縁起がよいとしてお正月の花材に用いられるなど、どちらも縁起物です。当然、「万両」もあるのですが、これは「千両」より重く実が葉の下に垂れ下がって付いていることからこう呼ぶようです。さらに、実の数によって百両、十両、一両もあるとか。それぞれの生育地を見ると「千両」は南関東から東海、九州、沖縄で、「南天」は西日本、四国、九州で自生とありますから北海道で見つけるのは難しいかも知れませんが・・・。

お正月には縁起物の「千両」を飾り、宝くじ「10億円」が正夢となって千両箱が一杯にならないかなあ・・・・。百両でも十両でも・・・。(A・A)



(一社)日本補償コンサルタント協会北海道支部 札幌市中央区北2条西2丁目29-1

ウイングビル**4**F

TEL 011-232-3738 FAX 011-232-3728 http://www.jcca-hokkaido.jp

- ●発行責任者 支 部 長 中野 芳
- ●編集責任者 企画広報委員長 舟山秀太郎